

平成 23年 3月 30日

## 検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

<b>対象プロジェクト名</b>			
高知県木質資源エネルギー活用事業B			
<b>GHG 検証機関</b>			
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。			
機関名	財団法人 日本品質保証機構		
担当部署名	地球環境事業部		
責任者名	松野 勉		
責任者 E-mail	matsuno-tsutomu@jqa.jp		
責任者電話番号	03-6212-9333		
審査員名 <sup>1</sup>	浅川 健一:チームリーダー、審査チームの統括、審査結果の取りまとめ 前岡 理照:チームメンバー、現地審査の実施、リーダーの補佐 外部専門家:なし レビュー担当者:前垣内 正記(判定会委員長)		
機関要件への合致	合致		
検証報告書発行日	2011年3月30日		
<b>検証結果</b>			
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 1.2		
検証期間	2011年1月20日~2011年3月30日		
現地審査	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	期間	2011年2月8~9日
	審査内容	デスクレビュー(フェーズ1検証)の結果に基づき、プロジェクト事業者等に対するインタビュー、記録及び現地確認(フェーズ2検証)を行った。検証ポイントは以下の通りである。 <GHG データ及び情報> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトの活動境界はモニタリングプラン通りか</li> <li>プロジェクト活動に関係するすべての排出活動がモニタリングプラン通りか</li> <li>パラメータの引用はモニタリングプラン通りか</li> </ul>	

		審査内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>活動量データ並びに算定に必要なデータはモニタリングプラン通りに収集されているか</li> <li>データの集計は正確か</li> <li>排出削減量の算定は正確に行われているか</li> </ul> <p>&lt;QA・QC体制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング体制及び算定体制はモニタリングプラン通りか</li> <li>モニタリング担当者の力量は十分か</li> <li>データチェックはどのように行われているか</li> <li>計測機器の管理はモニタリングプラン通りか</li> </ul>		
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO <sub>2</sub>	—	—	2,534	—	—
(但し、2010年度は2010年6月1日～2010年9月30日の期間)						
検証結果の要約		<p>財団法人 日本品質保証機構(JQA)は、高知県における木質資源エネルギー活用事業を対象として、二酸化炭素の排出削減量を検証した。</p> <p>検証の結果、「高知県木質資源エネルギー活用事業B モニタリング報告書 Ver. 1.1」に記載されたモニタリング期間(2010年6月1日～2010年9月30日)における二酸化炭素の排出削減量2,534 t-CO<sub>2</sub>は、「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクト申請書 Ver. 2.0」及び申請書別紙の「モニタリングプラン(Ver. 2.0)(平成21年11月4日差分申請分を含む)」に基づいて算定されており、不確かさ及び誤りの合計値が0 t-CO<sub>2</sub>(二酸化炭素排出削減量に対する割合:0%)となり、重要性の判断基準の5%未満であることから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。